2022年3月期第2四半期
決算説明会

2021年11月9日
三菱ロジスネクスト株式会社

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

2022年3月期第2四半期
決算概要

三菱ロジスネクスト株式会社
代表取締役社長　久保　隆

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

1．決算概況

市場環境

- 世界経済はコロナ禍からの復調傾向が継続。
- 海外の物流機器市場は、先行して回復を示していた中国、昨年9月頃からは欧米、アジアで力強い伸長をみせている。日本においては復調傾向は緩やかではあるものの、コロナ禍前の水準にまで回復しつつある。
- 一方で、依然として急激な経済回復の影響での資材費並びに輸送運賃の高騰、サプライチェーンの混乱が続いており、生産およびコスト面に大きく影響を及ぼしている。

連結業績概要

- フォークリフト市場の伸長により受注は好調であるものの、需要に応える生産・出荷体制ができておらず、納期順守が喫緊の課題。
- 売上高は、海外拠点の力強い市場の回復により前年比+16.5%の増収。
- 営業利益は、資材費や輸送運賃が高騰しているものの、売上の回復により前年比＋45.2%の増益（のれん等償却前）。

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

2．決算ハイライト

Logisnext

（単位：億円）

損益計算書	FY2020/2Q	FY2021/2Q	前年同期比増減	
売上高	1,854.6	**2,160.9**	**+306.3**	**+16.5%**
営業利益（のれん等償却前） （営業利益率）	43.4 （2.3%）	**63.1** **（2.9%）**	**+19.6**	**+45.2%**
のれん等償却	48.0	**47.5**	**—**	**—**
営業利益 （営業利益率）	△4.6 （△0.2%）	**15.6** **（0.7%）**	**+20.2**	**—**
経常利益 （経常利益率）	△7.0 （△0.4%）	**14.3** **（0.7%）**	**+21.4**	**—**
親会社株主に帰属する当期純利益 （当期純利益率）	△19.6 （△1.1%）	**0.3** **（0.0%）**	**+19.9**	**—**

FY2020/2Q実績レート：USD＝106.92円　EUR＝121.30円　CNY＝15.26円
FY2020/4Q実績レート：USD＝106.06円　EUR＝123.70円　CNY＝15.67円
FY2021/2Q実績レート：USD＝109.80円　EUR＝130.88円　CNY＝16.99円

貸借対照表	FY2020/2Q	FY2021/2Q	前期比増減	
総資産	3,635	**3,656**	**+21**	**+0.6%**
総負債	3,080	**3,093**	**+14**	**+0.4%**
純資産	555	**563**	**+8**	**+1.4%**

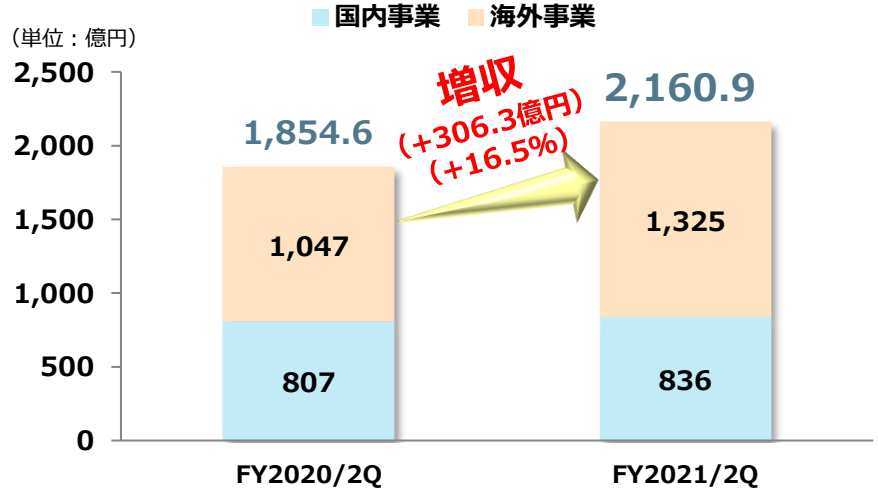
© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

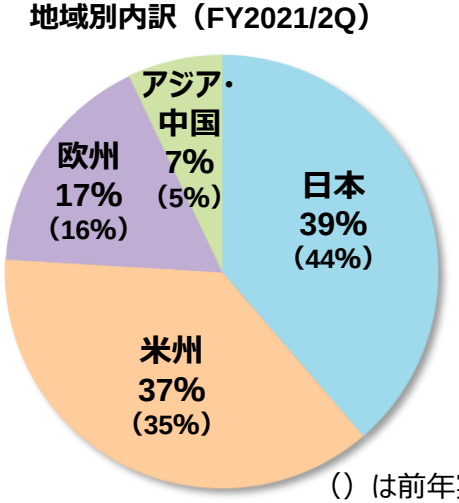
3．セグメント別業績

Logisnext

売上高：米州を中心とした海外フォークリフト市場の力強い回復が寄与し増収

売上高

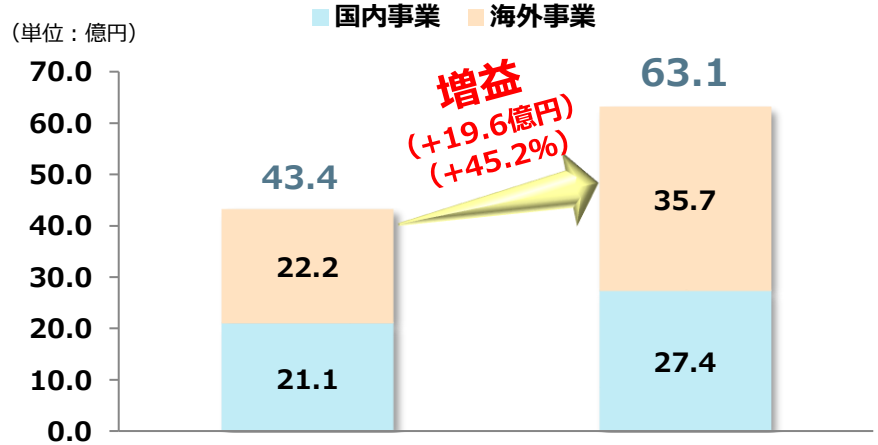


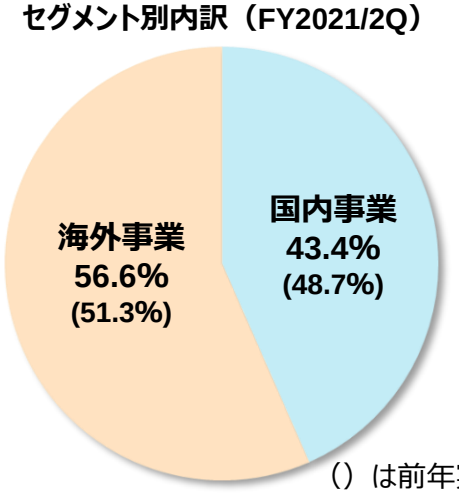


（）は前年実績

営業利益(※)：資材費・輸送費の高騰が響くも、売上増による粗利増が寄与し増益

営業利益(※)





（）は前年実績

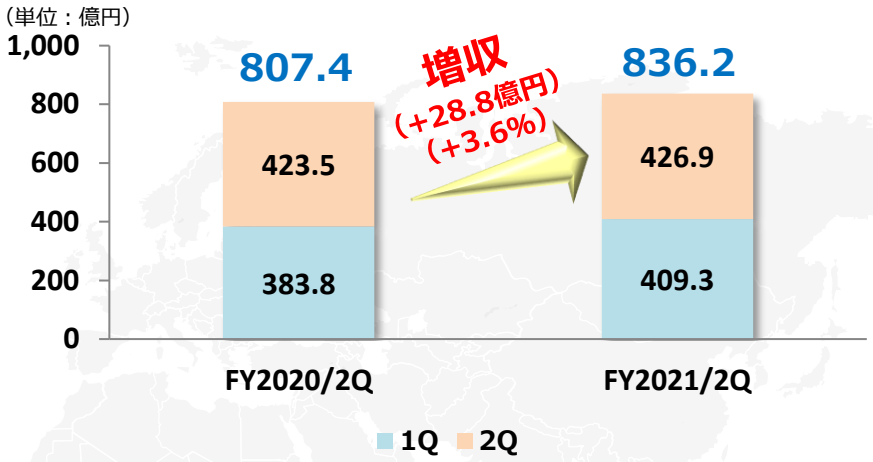
（※）のれん等償却前営業利益

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

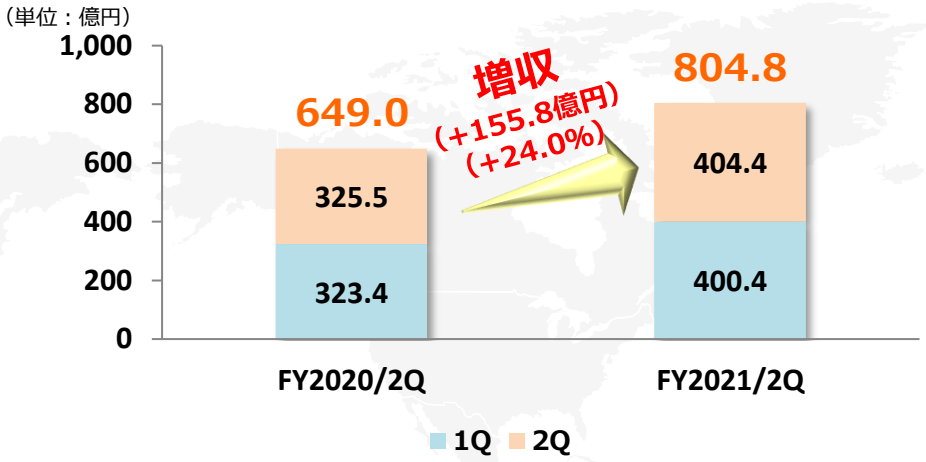
4．地域別売上高（為替影響含む）

Logisnext

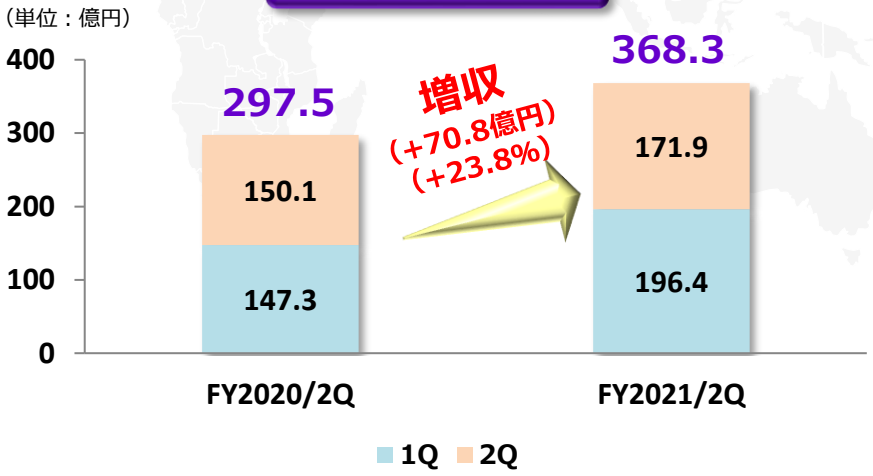
日本



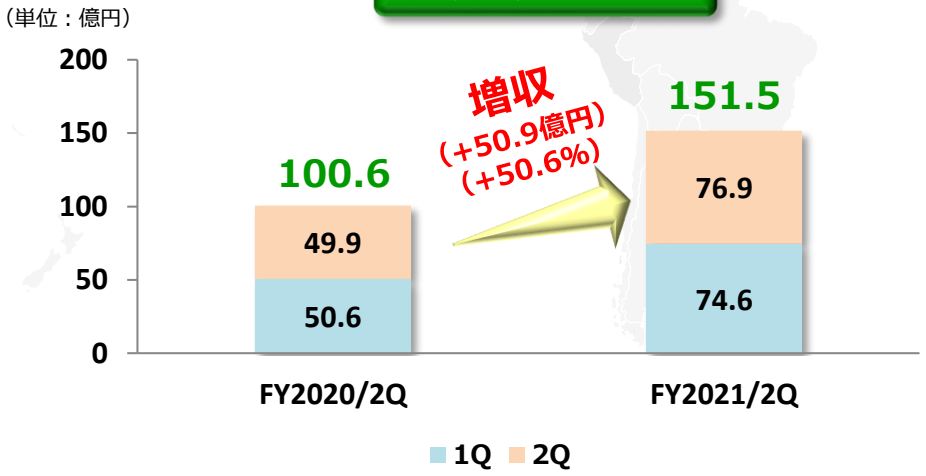
米州



欧州



アジア・中国

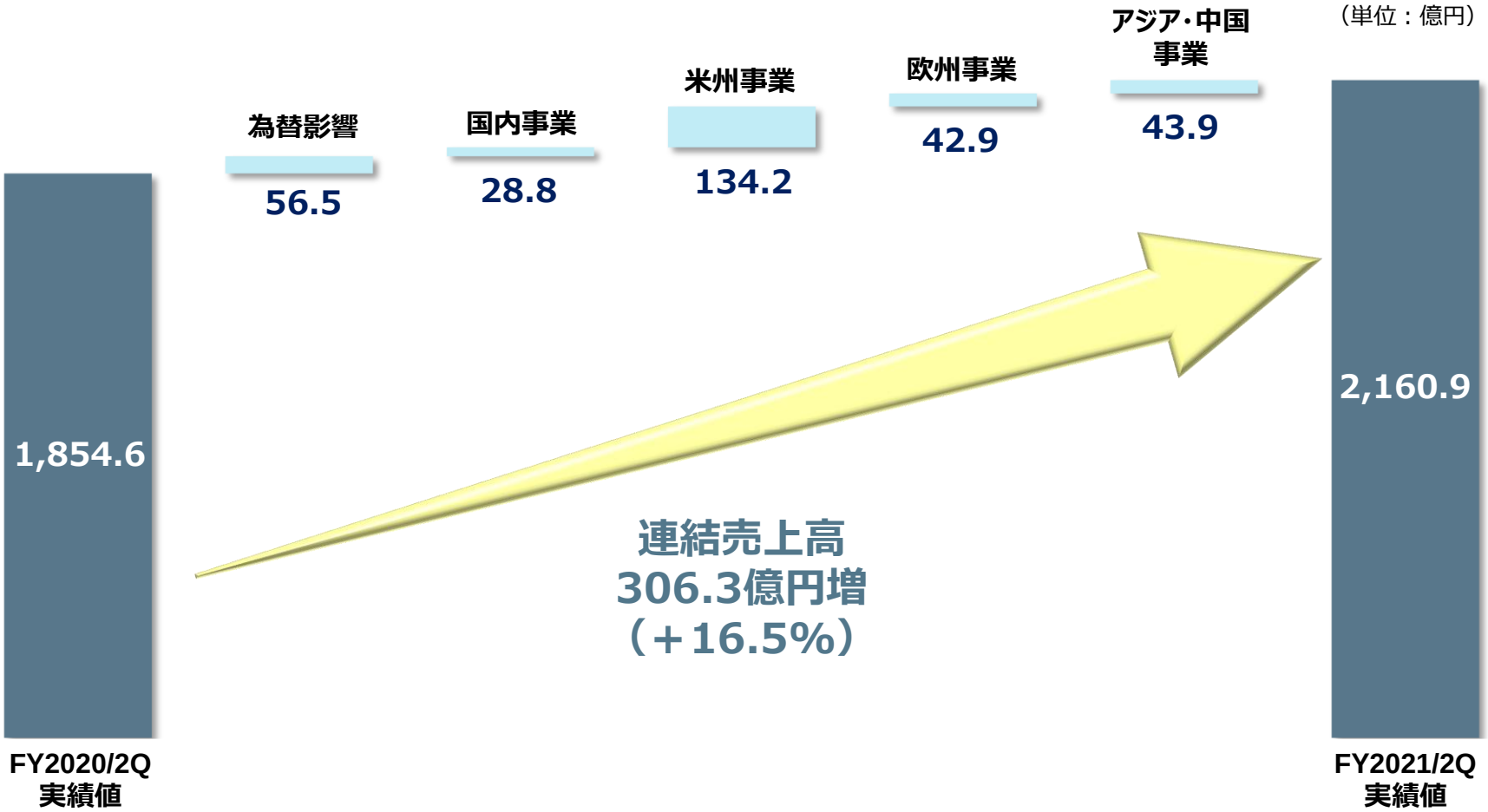


© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

5．連結売上高増減要因（前年同期実績対比）

Logisnext

海外市場の力強い回復により前年比+16.5%の増収。受注は大幅に改善するも、サプライチェーン混乱による生産・出荷遅延によりそのまま売上増に繋がっていない。また、アジア等では新型コロナ感染拡大により足下で回復傾向に陰りが出ている。



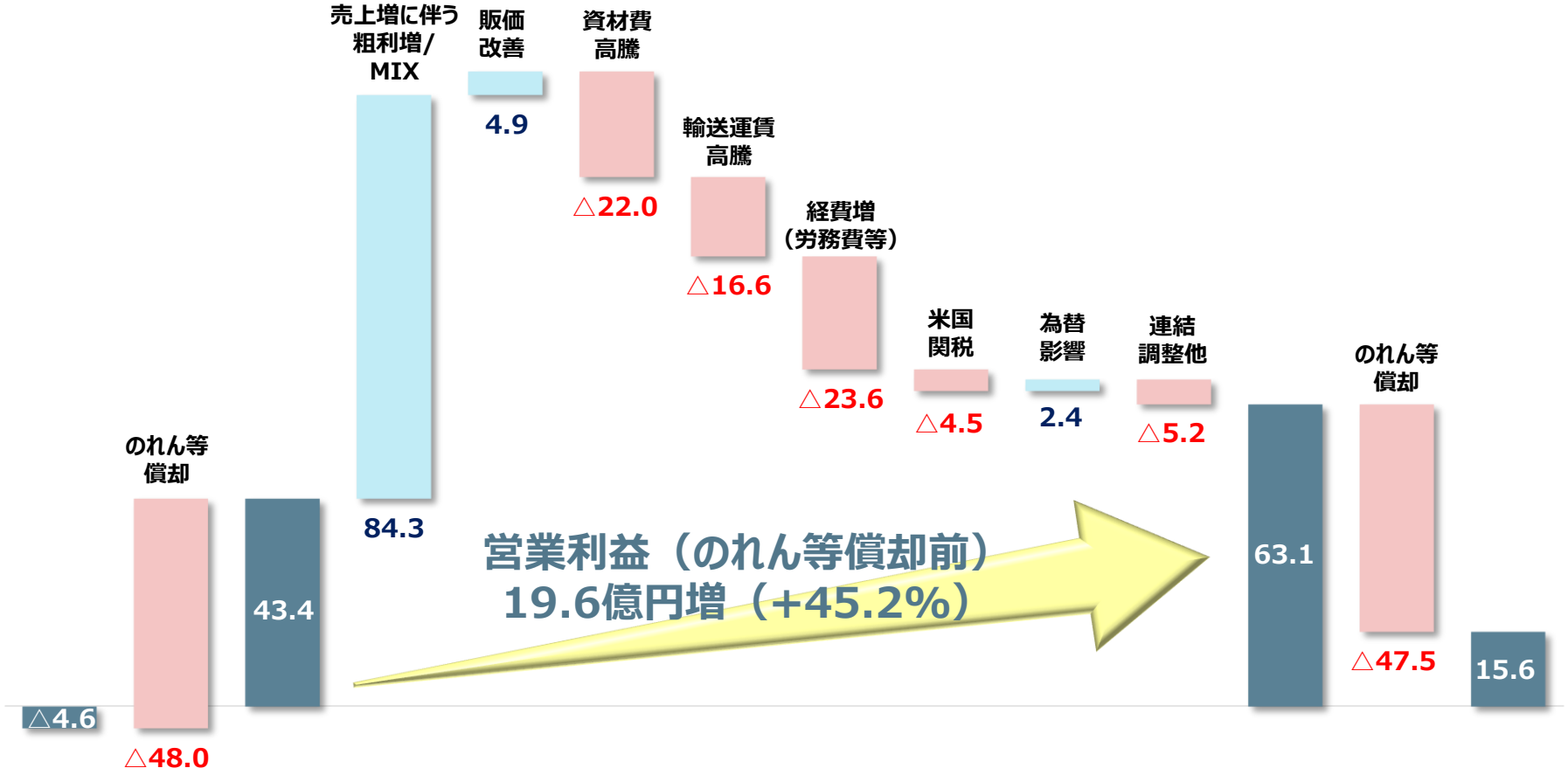
© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

6．連結営業利益増減要因（前年同期実績対比）

Logisnext

想定以上の資材費・輸送費の高騰が響いているものの、売上の増加が寄与。
のれん等償却前営業利益は前年比＋45.2%の増益。

（単位：億円）



© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

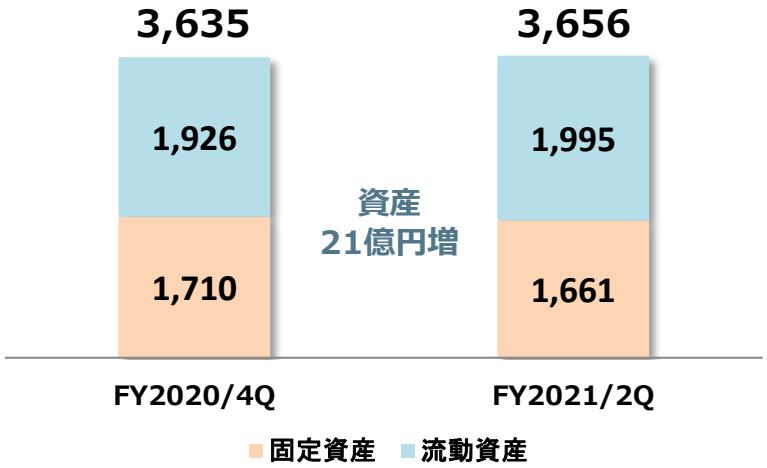
7．連結貸借対照表

Logisnext

棚卸資産・買掛金等運転資本の増加により総資産、総負債は共に増加。

（単位：億円）

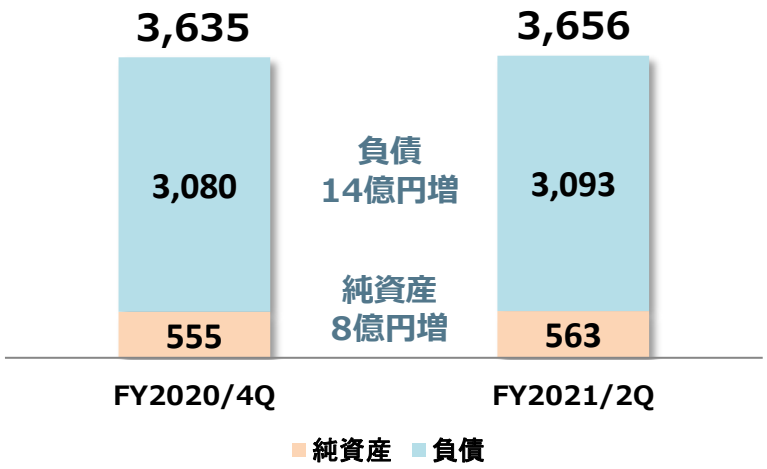
資産



項目	FY2020/4Q	FY2021/2Q	増減
流動資産	1,926	1,995	+70
（有形固定資産）	981	978	△ 3
（無形固定資産）	549	501	△ 48
（投資その他）	180	182	+3
固定資産計	1,710	1,661	△ 48
資産合計	3,635	3,656	+21

流動資産：増
棚卸資産の増加
固定資産：減
のれん償却による減少

負債／純資産



項目	FY2020/4Q	FY2021/2Q	増減
流動負債	1,489	1,514	+25
固定負債	1,590	1,579	△ 11
負債合計	3,080	3,093	+14
純資産計	555	563	+8
負債･純資産合計	3,635	3,656	+21

負債：増
買掛金の増加、借入金の減少
純資産：増
有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の増による増加

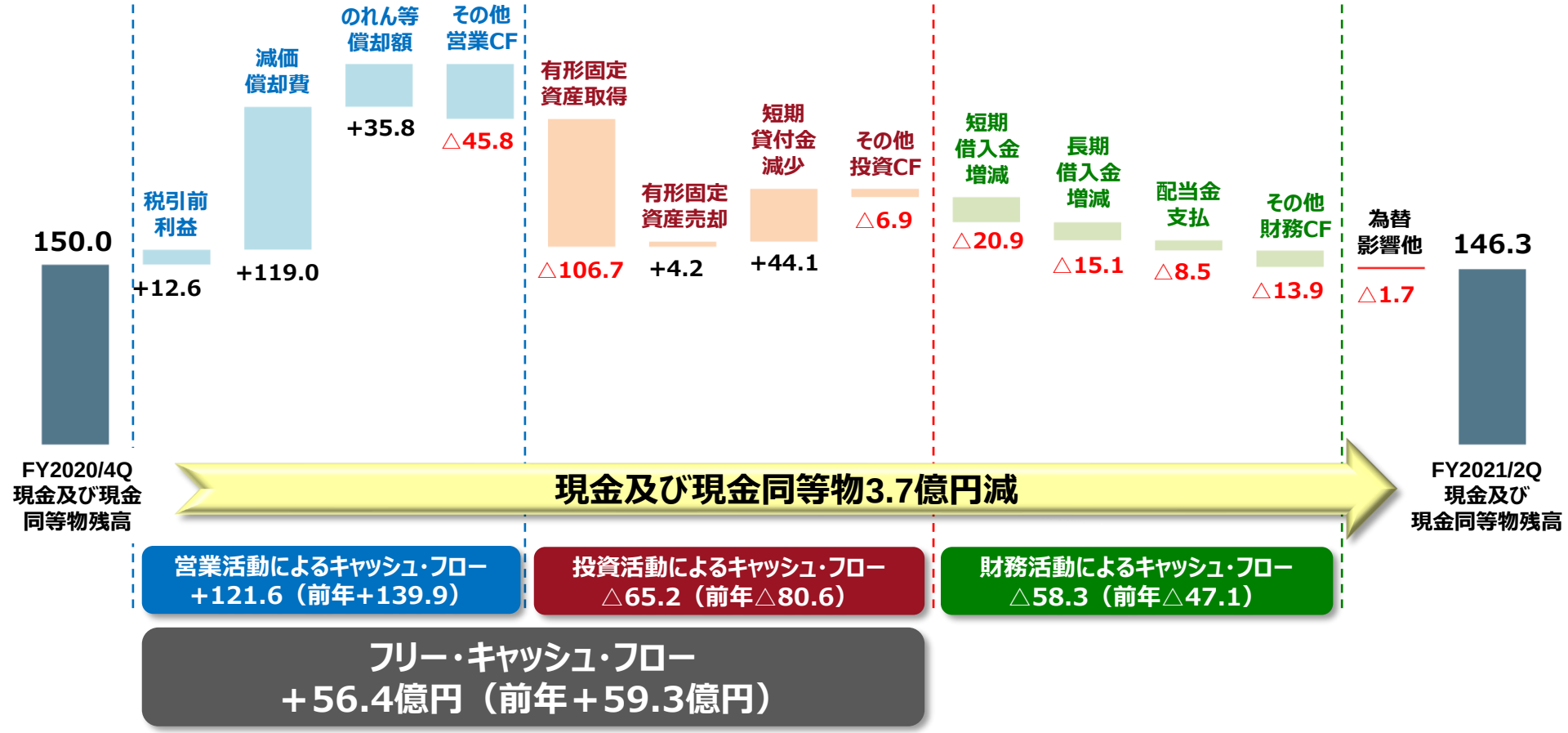
© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

8．キャッシュ・フローの状況

Logisnext

営業C/Fは△18.3億円減少（前年同期140億円）。サプライチェーン混乱に起因する生産・出荷遅延による棚卸資産の増加等、運転資本の悪化が響いた。
フリーC/Fは営業C/Fの悪化により僅かに前年より悪化した（△2.9億円）。

（単位：億円）



© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

9．2022年3月期通期業績見通し

Logisnext

経済活動の本格的な再開が進む中、全世界で大きく回復傾向が表れており、フォークリフト市場も当初の想定以上に回復してきていることを考慮し、2021年10月29日に通期連結業績予想の修正を実施。

業績修正の主な理由

- 2Qまでの実績（当初想定と比較しての売上の増加）及び足元の受注状況。
- 期初の想定を大きく超える資材費、輸送費の高騰による変動費の増加。

（単位：億円）

項目	FY2020/2Q（実績）	FY2020/4Q（実績）	FY2021/2Q（実績）	FY2021/4Q（10月29日付修正予想）	業績予想（2021年5月公表）
販売台数	39千台	85千台	48千台	**115千台**	102千台
売上高	1,854.6	3,915.0	2,160.9	**4,700.0**	4,300.0
営業利益（のれん等償却前）（営業利益率）	43.4（2.3%）	109.9（2.8%）	63.1（2.9%）	**140.0（3.0%）**	140.0（3.3%）
のれん等償却	48.0	93.9	47.5	**90.0**	90.0
営業利益（のれん等償却後）（営業利益率）	△4.6（△0.2%）	15.9（0.4%）	15.6（0.7%）	**50.0（1.1%）**	50.0（1.2%）
経常利益（経常利益率）	△7.0（△0.4%）	20.1（0.5%）	14.3（0.7%）	**40.0（0.9%）**	40.0（0.9%）
親会社株主に帰属する当期純利益（当期純利益率）	△19.6（△1.1%）	△26.8（△0.7%）	0.3（0.0%）	**10.0（0.2%）**	10.0（0.2%）
1株あたり配当	—	8円	—	**8円**	8円

FY2021/4Q修正計画レート：USD=110円　EUR=130円　CNY=17円

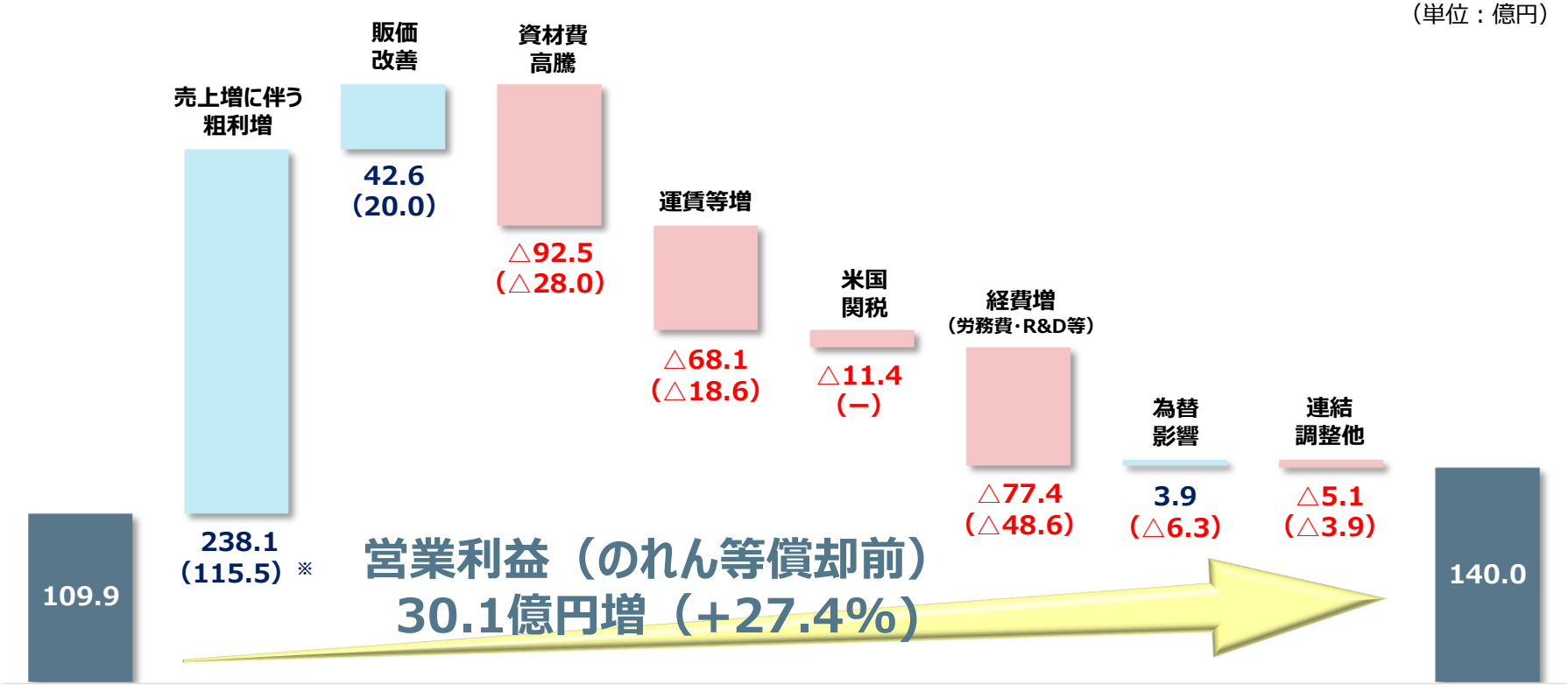
© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

１０．通期見通し　営業利益増減要因

Logisnext

フォークリフト市場は当初の想定以上に回復しており受注環境は好調。売上の増加を見込む一方で、サプライチェーンの混乱に起因する**生産・出荷遅延に解消の遅れ**があり、**資材費、物流費の高騰による変動費の悪化**が大きく響いている。値上げの効果も後ズレが見込まれることから営業利益は当初予想を据え置いた。

（単位：億円）



※（）は期首計画時の予想値

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

【参考資料】主な経営指標

Logisnext

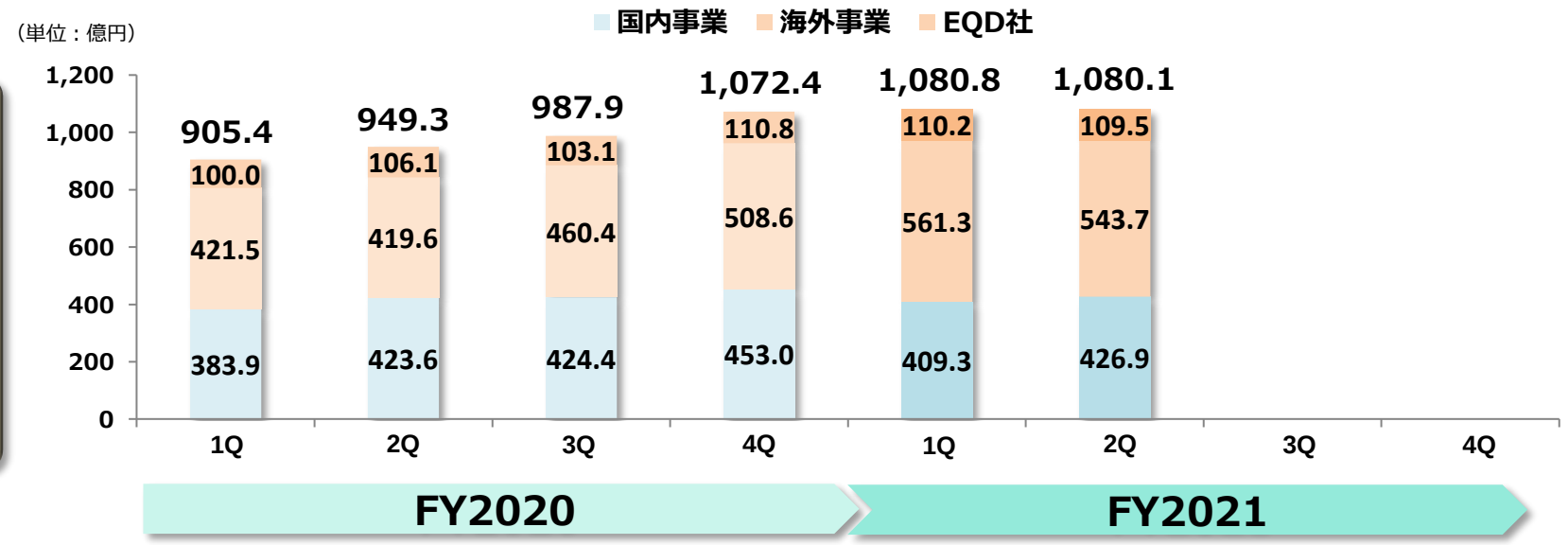
	指標	算式	FY2020/4Q	（のれん償却前）	FY2021/2Q	（のれん償却前）	コメント
総合	総資本利益率（ROA）	当期純利益 / 総資本	△ 0.7%	(1.5%)	**0.0%**	**(2.2%)**	売上増加に伴う業績回復により数値が良化。
	自己資本利益率（ROE）	当期純利益 / 自己資本	△ 4.9%	(6.4%)	**0.1%**	**(8.5%)**	
収益性	売上高営業利益率	営業利益 / 売上高	0.4%	(2.8%)	**0.7%**	**(2.9%)**	売上増加に伴う業績回復により数値が良化。
	売上高当期純利益率	当期純利益 / 売上高	△ 0.7%	(1.6%)	**0.0%**	**(2.1%)**	
効率性	総資本回転率	売上高 / 総資本	1.1回		**1.2回**		
	売上債権回転率	売上高 / 売上債権	5.4回		**6.2回**		
	棚卸資産回転率	売上原価 / 棚卸資産	4.9回		**5.0回**		
安全性	自己資本比率	自己資本 / 総資本	15.1%		**15.2%**		
	D/Eレシオ	有利子負債 / 株主資本	3.3倍		**3.2倍**		
株主関連	1株あたり利益	当期純利益 / 発行済株式数	△25.19円		**0.50円**		
	株価収益率（PER）	株価 / 1株あたり利益	-		**-**		株価： 2021年3月期末：1,296円 2021年9月期末：1,159円
	株価純資産倍率（PBR）	株価 / 1株あたり純資産	2.5倍		**2.2倍**		

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

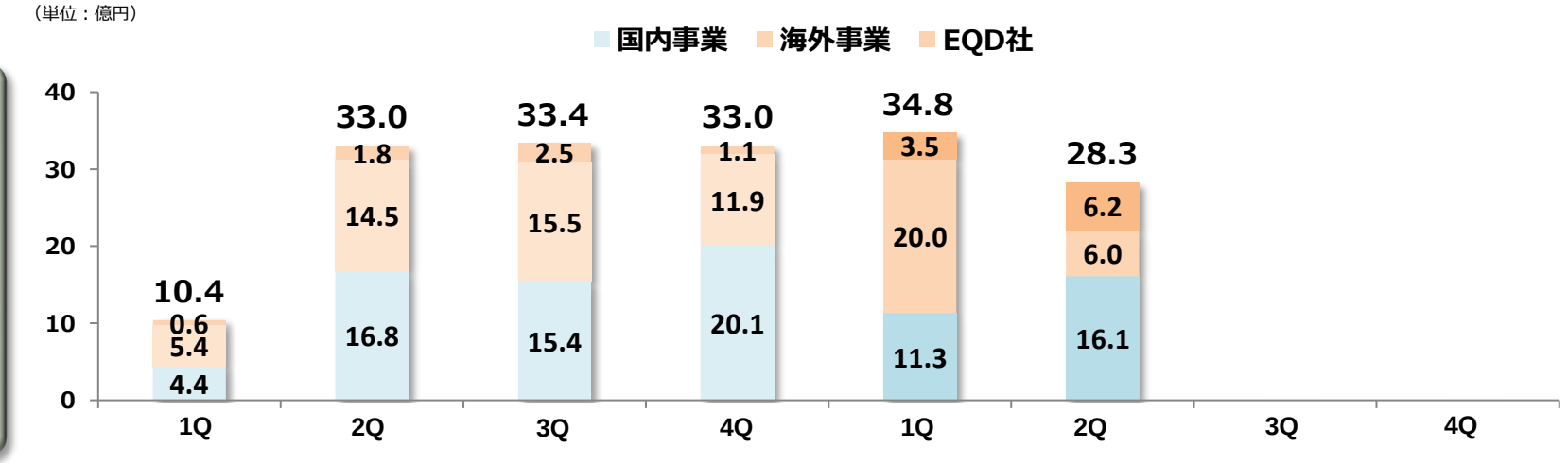
【参考資料】四半期推移

Logisnext

売上高



営業利益 (※)

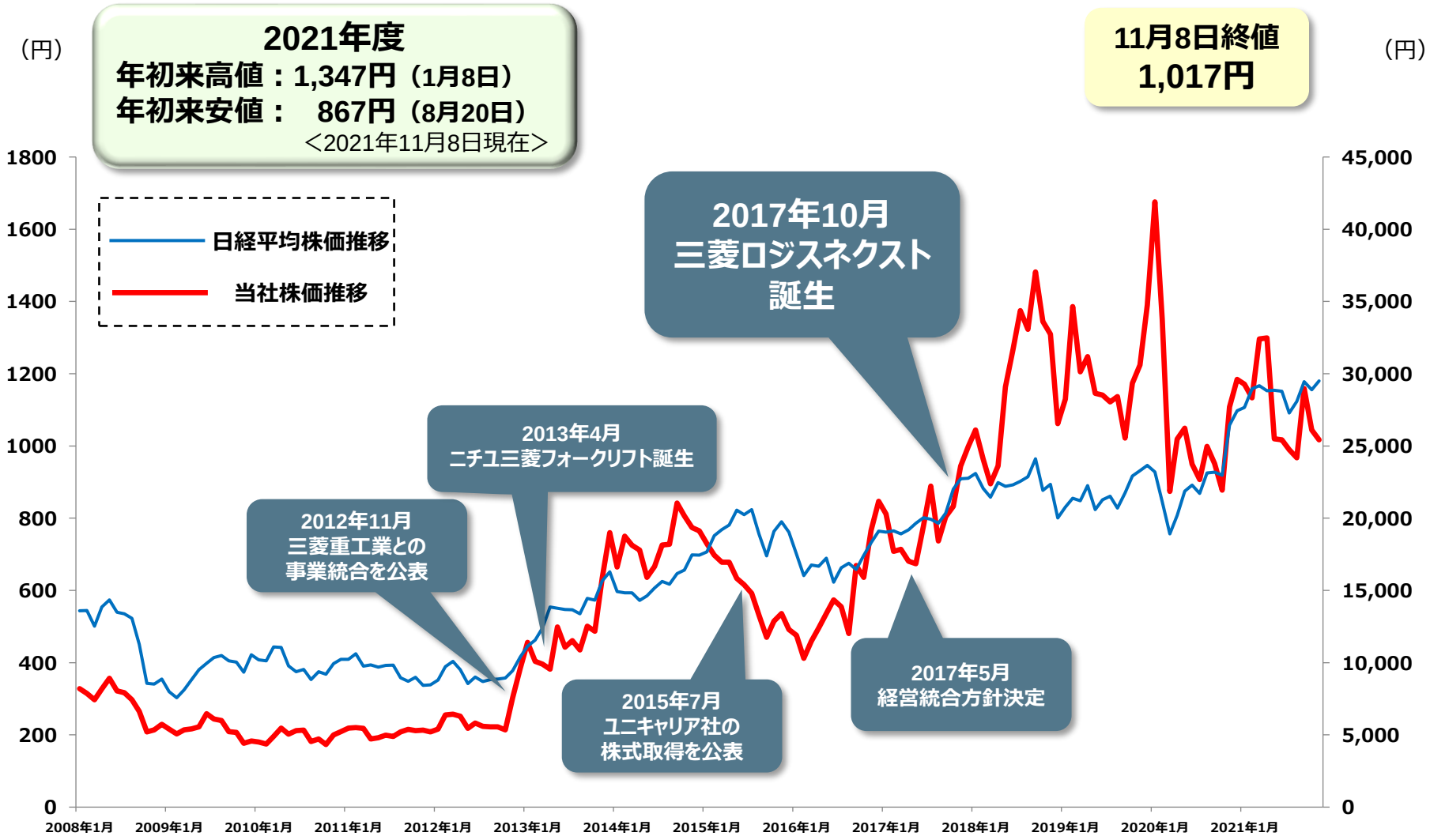


（※）のれん等償却前営業利益

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

【参考資料】株価の推移

Logisnext



© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

経営計画の進捗状況

三菱ロジスネクスト株式会社
代表取締役社長　久保　隆

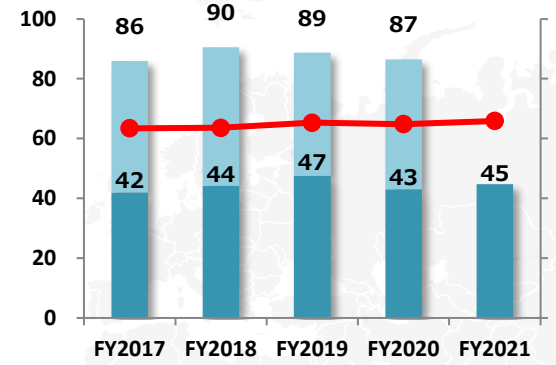
© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

1．フォークリフト市場動向【出荷】（4月～9月）

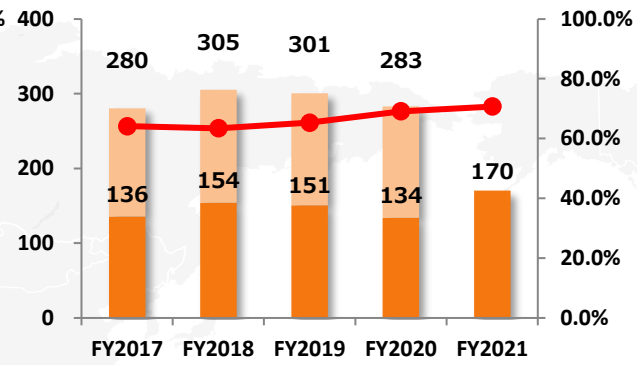
Logisnext

2021年度2Q迄のフォークリフト市場は堅調な中国市場に加え、欧米、アジア市場の力強い回復により出荷台数は前年比＋30.8%の1,036千台。

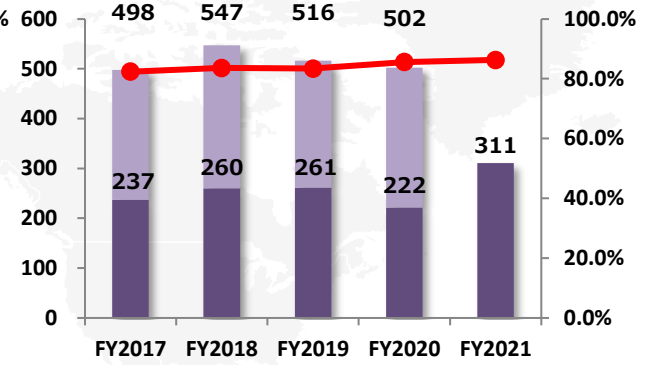
日本



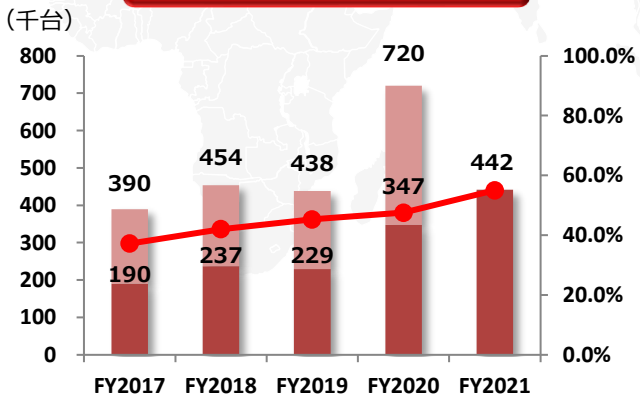
米州

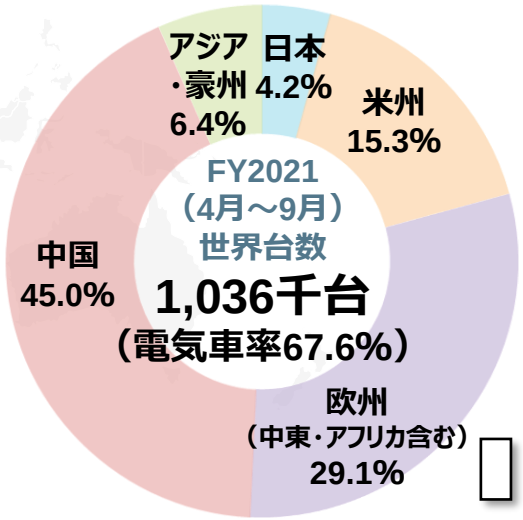


欧州（中東・アフリカ含む）

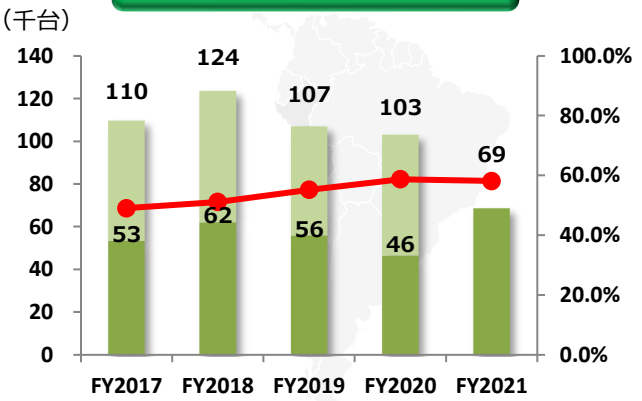


中国





アジア・豪州（南ア含む）



市場台数

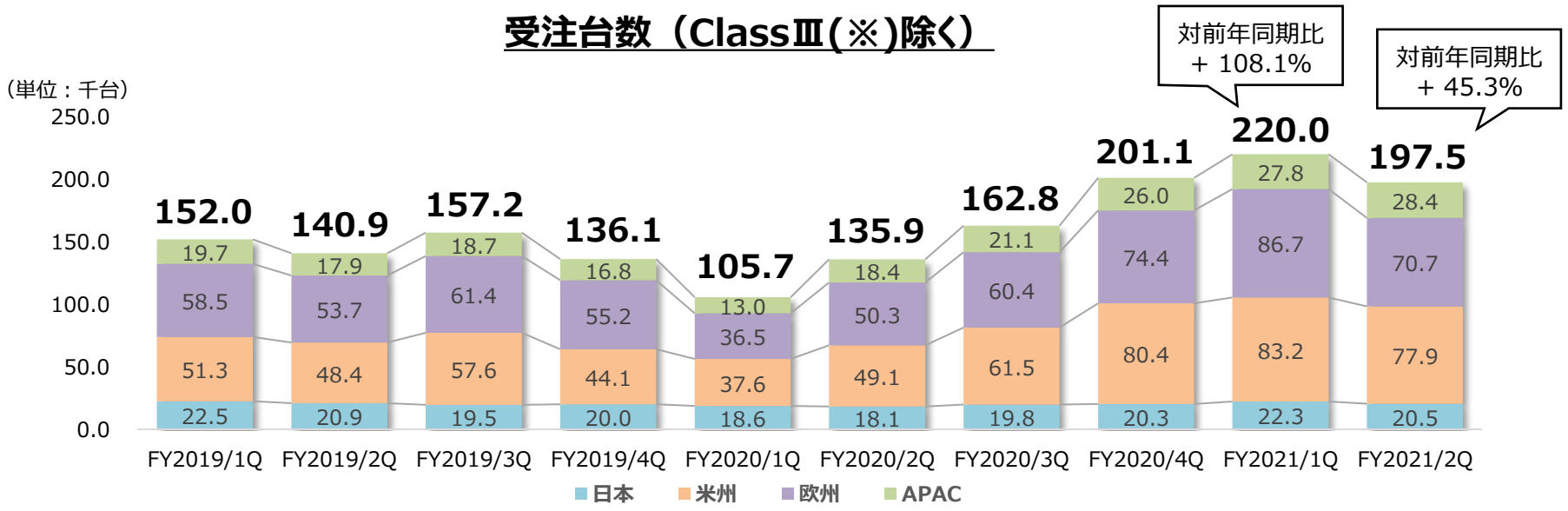
電気車率

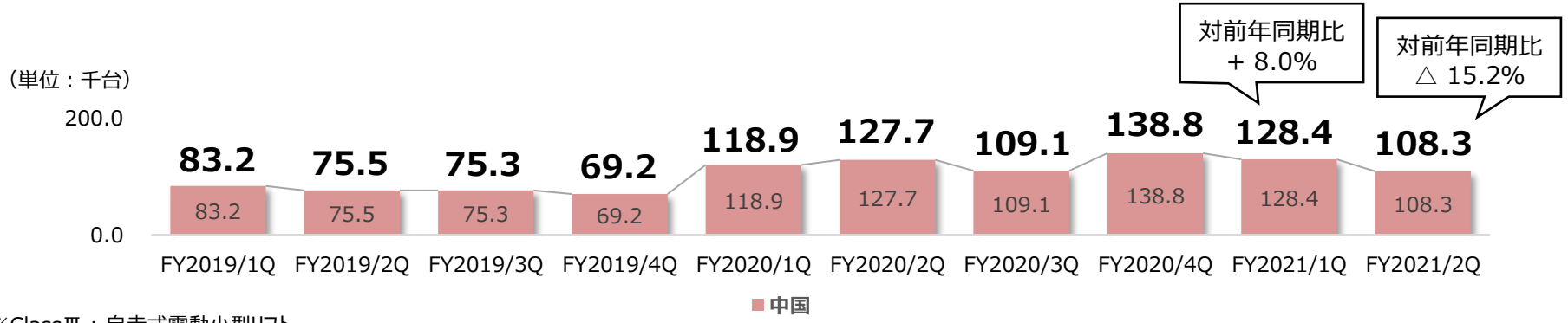
© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

2．フォークリフト市場動向【受注】（4月～9月）

Logisnext

コロナ禍の反動増は落ち着きつつあるものの、依然として強い需要が続いている（対前年同期比+16.0%/306千台・中国市場を除くと同＋45.3%の198千台 ）。





※ClassⅢ：自走式電動小型リフト

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

3．中期経営計画『Logisnext SolutionS 2023』

■Logisnext SolutionS 2023（『LS23』）

基本戦略	企業耐力の強化	成長戦略の推進	ブランド力向上
企業理念	世界のあらゆる物流シーンで、お客様にソリューションを提供し続け、未来創りに貢献する		

■3つの基本方針

企業耐力の強化

- 既存事業の強化
- 固定費・変動費の改善

成長戦略の推進

- ソリューション事業の推進による事業領域拡大
- 販売ネットワーク再編・強化による利益創出
- 市場ニーズを捉えた商品開発によるシェアアップ

ブランド力向上

- “Logisnext”ブランドの活用と認知度向上
- “Logisnext”を核に新しい企業文化の醸成

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

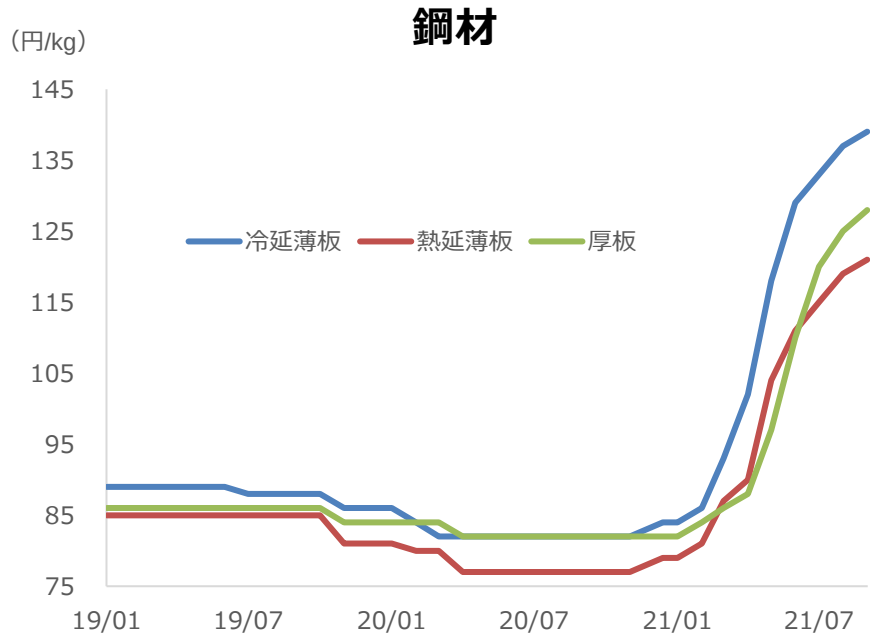
4．企業耐力の強化

Logisnext

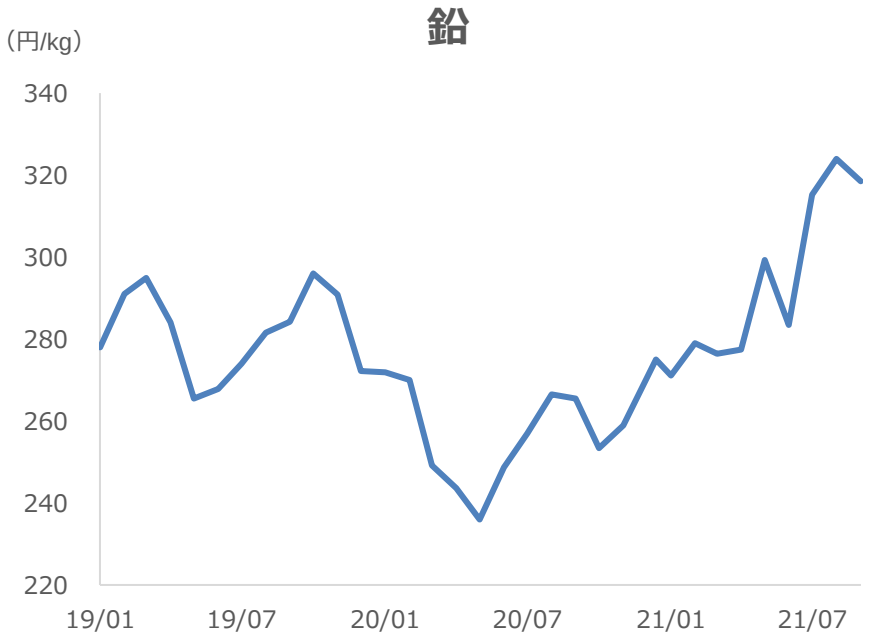
■資材費高騰への対応

➢ フォークリフト等の販売価格改定

- 原料となる鉄鉱石や石炭の価格高騰を受けた鋼材価格の上昇やコロナ後の景気回復期待による増産などの変化は、資材調達に大きな影響を及ぼしている。
- 当社でも原材料の価格高騰などを受け、世界各地でフォークリフト等の販売価格の値上げを実施。



日刊鉄鋼新聞 市中相場情報に基づき作成



日刊市況通信社情報に基づき作成

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

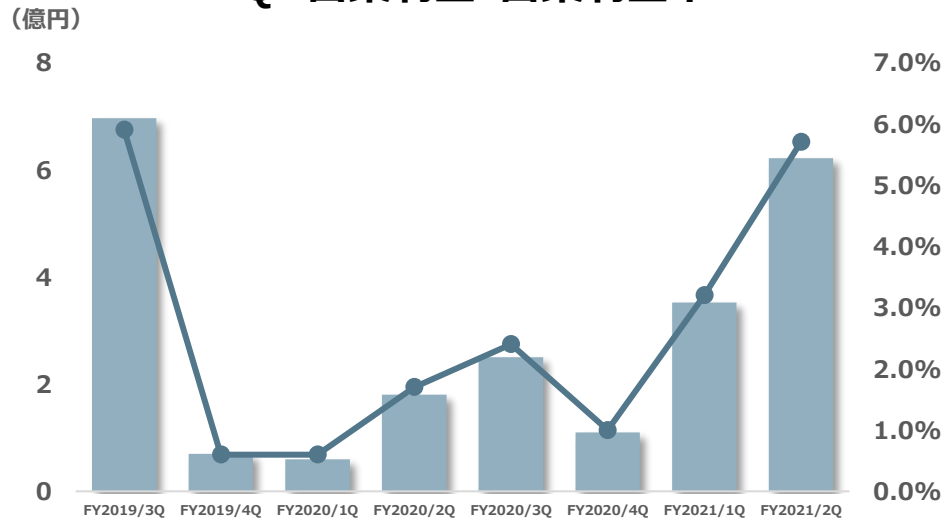
5．企業耐力の強化　－既存事業の強化－

■EQD事業の拡大

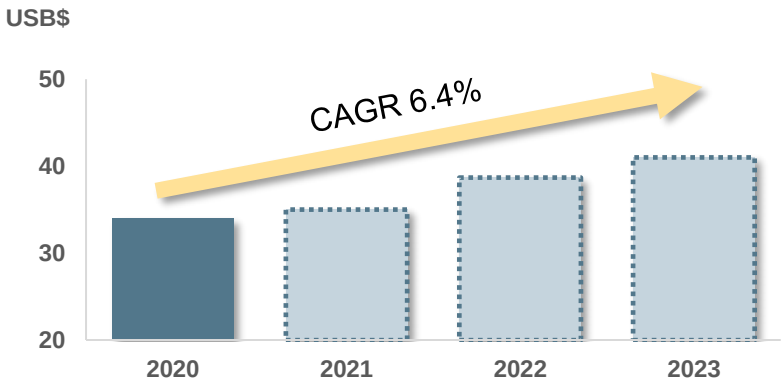
➢ 米国におけるレンタル需要の回復、拡大

- 米国ではコロナ禍からの景気回復に伴い、建設・産業機械のレンタル需要が増加。
  レンタル機械市場は2022年には2019年を上回り、その後も堅調に推移する見通し。
- 好調な市場環境を背景にEQDは、車体販売、部品・サービス部門だけでなく、レンタル部門も力強い回復をみせ、高稼働の状況。需要動向を見極めながら積極的な投資を推進。

EQD営業利益・営業利益率



建機・産業機械のレンタル市場（米国）



American Rental Associationの市場見通しレポートに基づき作成

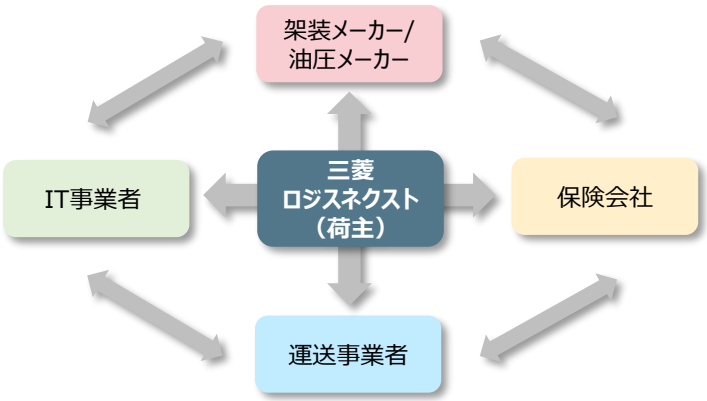
© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

6．企業耐力の強化 －固定費･変動費の改善－

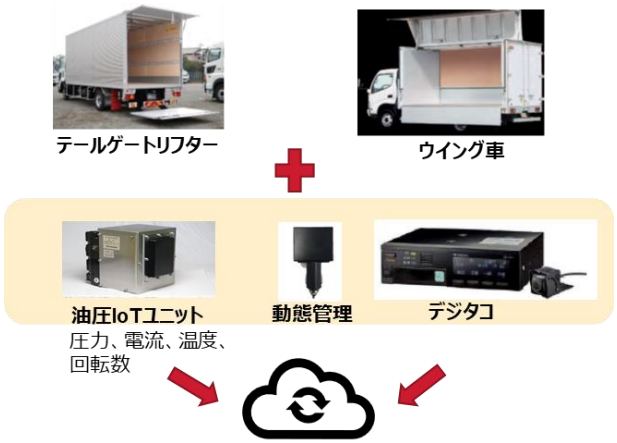
■物流高度化

➢ 物流MaaS実証事業

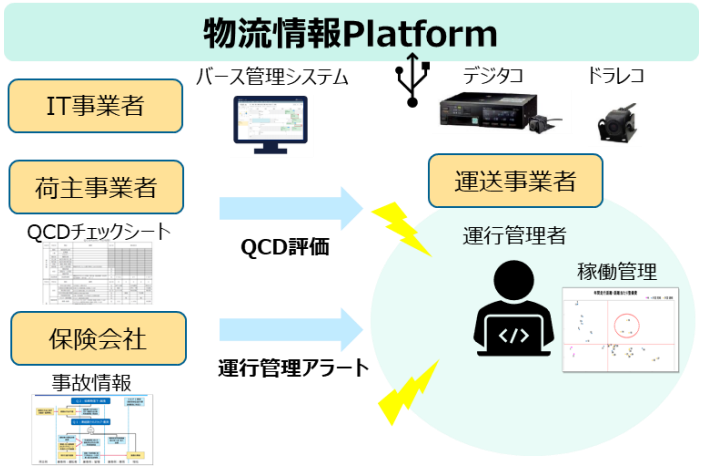
- 荷主が運送事業者･保険会社等と連携し、関係者がメリット（輸送費削減、事故削減、保険金支払減など）を享受する仕組みを構築。
- 更なるQCD改善を行い、コスト最適化や輸送の効率化を目指す。



架装設備挙動監視による安全性･効率性検証



ＱＣＤ改善パッケージサービスの構築･検証



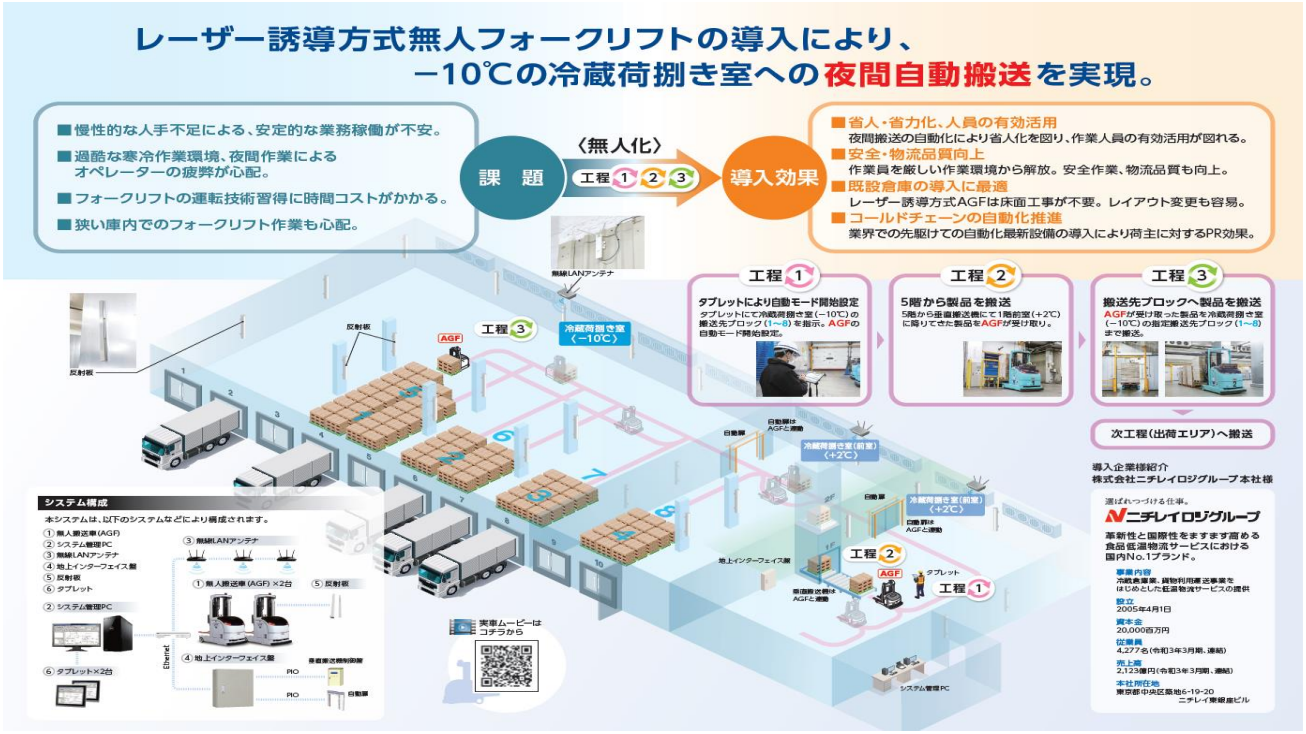
© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

7．成長戦略の推進　－ソリューション推進－

■無人化･省人化

➢ 国内初、冷凍冷蔵倉庫型レーザー誘導方式無人フォークリフトを共同開発

- 冷凍冷蔵庫型のレーザー誘導方式無人フォークリフトを株式会社ニチレイロジグループ本社及び三菱重工業株式会社と共同開発。
- 低温環境下における作業者の負担や、慢性的な人手不足による業務稼働の不安等の課題を解決。



© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

8．成長戦略の推進　－ソリューション推進－

■新製品投入

➢ 高効率無人フォークリフト「プラッターオート H タイプ」を新発売

- 8月24日にレーザー誘導方式無人フォークリフト「プラッターオート H タイプ」を発売。
  有人フォークリフトと同等の走行・リフト速度・旋回半径を実現し、物流倉庫に最適な高効率無人フォークリフト。
- 今後も労働力不足に伴う物流現場の自動化、e コマース市場の拡大、物流倉庫での非接触化や自動化などの要望に対応し、市場プレゼンスの拡大を目指す。

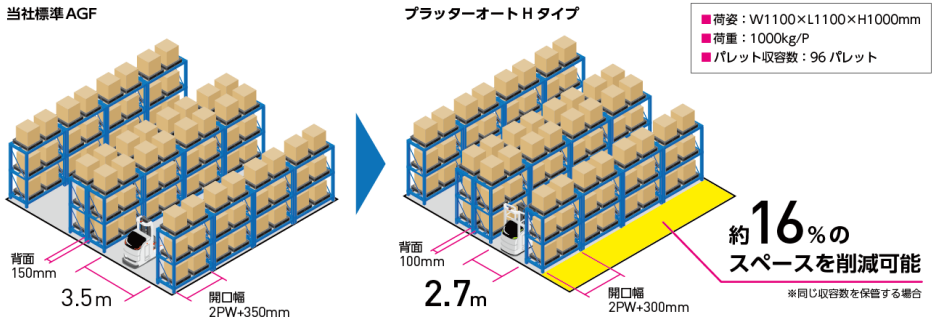
PLATTER AUTO
プラッターオート H タイプ



スペース効率　Space Saving

倉庫内エリアの有効活用が可能

直角積付通路幅2.7mでの作業（W1100×L1100パレットの場合）を実現し、マルチテナント倉庫での柱ピッチに最適なラック配置が可能です。
さらにラック最下段の高さも当社標準AGF比-50mmで有人フォークリフトと同じ設定ができます。
同じ収容数を保管する場合、当社標準AGF比約16％のスペースセービングにより倉庫内エリアの有効活用が可能となります。



© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

9．成長戦略の推進　－ソリューション推進－

Logisnext

■AI製品の発売

➢ フォークリフト AI 人検知システム「グッドファインダー」好調

- 三菱重工業株式会社と共同開発製品、フォークリフト AI人検知システム「グッドファインダー」は9月13日の発売以降、多数の引合を獲得。
- フォークリフトの作業性向上に加え、フォークリフトによる事故の削減とより安全な作業環境の実現に向けて、対応機種拡大など更なる拡販を狙う。



主な特長および機能

- 車両各所に設置した近距離用/遠距離用監視カメラの映像をAIが自動で解析し、人の接近を検知すると警告を発信。
- 検知結果を音（アラーム）と光（LEDインジケーター点灯）でオペレーターに警告。
- 車速に応じて周囲監視と遠方監視のカメラを自動で切替。
- 人検知中は車両の発進を抑える発進抑制機能も装備。

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

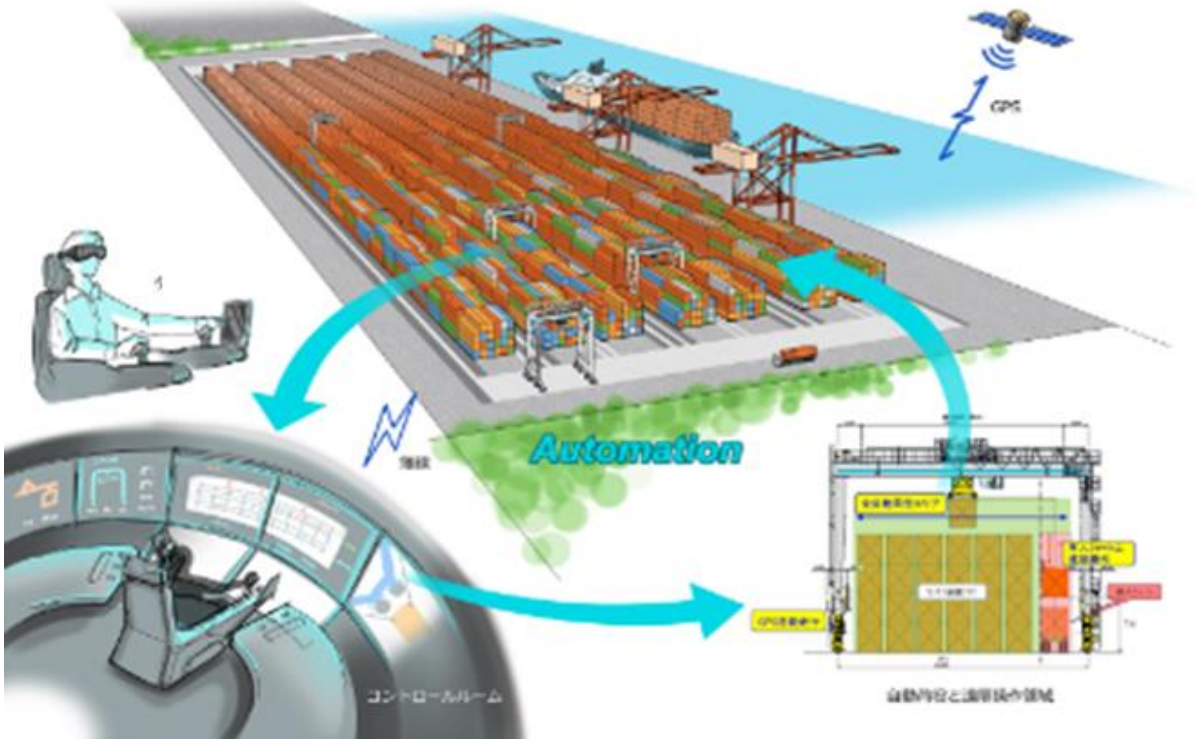
１０．成長戦略の推進　– ソリューション推進 –

■AIターミナルの実現に向けて①

➢ 遠隔操作RTG（ハイブリッドタイプ、カーボンニュートラル対応型仕様）

- 国際コンテナ戦略港湾の機能強化として『ヒトを支援するAIターミナル』の実現に向けて、遠隔操作RTGの機能強化。

(1) 港湾労働者の労働環境改善
(2) 自動運転技術、大容量データ通信技術の向上



当社作成イメージ図

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

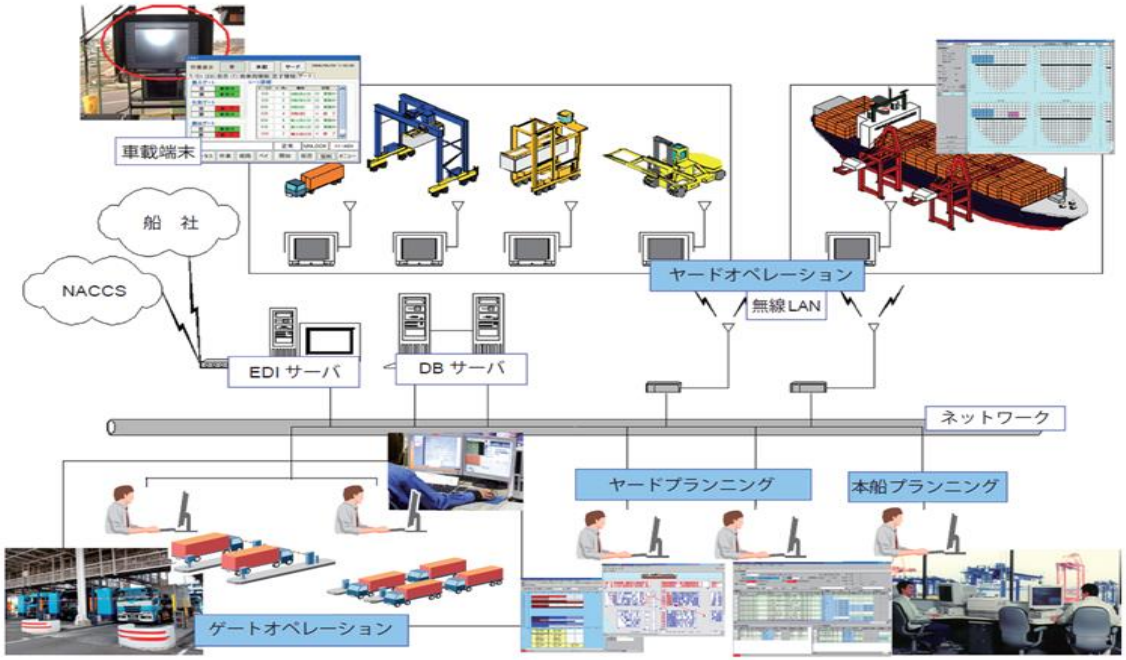
１１．成長戦略の推進　– ソリューション推進 –

■AIターミナルの実現に向けて②

➢ CTMS(コンテナターミナルマネジメントシステム)の機能強化

- 港湾エリアの渋滞解消

(1)ETC併用での車番自動読み取り
(2)事前予約システムとの連携（WEB）
(3)コンテナ番号自動認識装置
(4)バーコード、タッチパネル入力装置 他



© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

１２．ブランド力向上 － ESG経営 －

Logisnext

■脱炭素社会の実現に向けての取組み

➢ カーボンニュートラルポート（CNP）の形成

- 三菱重工業と協力し港湾におけるCO2排出量削減へ向け、国土交通省が検討を進めているCNPに貢献する。



当社関連領域

湾岸エリアの渋滞解消

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

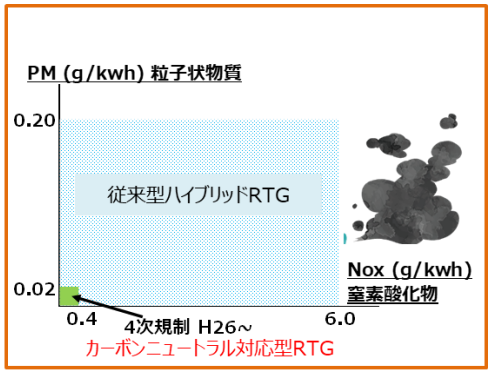
13 気候変動に具体的な対策を

気候変動に具体的な対策を

➢ カーボンニュートラル対応型RTG HYBRID

・4次排気ガス対策エンジン搭載
・将来、水素燃料電池に換装可能





© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

注意事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予測に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。
- 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予測と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保障するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

本資料に関するお問い合わせ

三菱ロジスネクスト株式会社　財務企画部企画課　苅屋・柏木

〒617-8585　京都府長岡京市東神足2-1-1
TEL：075-956-8610　　FAX：075-951-4038
URL：www.logisnext.com

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.

Logisnext

三菱ロジスネクスト

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO.,LTD. All rights reserved.